

大富士病院 クリニカルラダー

2015年からⅠ～Ⅳ段階とした『段階別教育プログラム』を使用してきましたが、日本精神科看護協会からⅠ～Ⅴレベルのクリニカルラダーが公表されました。

当院では、これまで使用していた4段階の教育プログラムを基本とし、更なる教育体制の向上を図るべく、日本精神科看護協会のラダーを参考としながらレベル別のラダーとして2023年から導入し使用しています。

各自が目標に向けレベルアップしています。

大富士病院 クリニカルラダーについて 1

ラダーは各レベルの目標をクリアして階段を登るよう
に上がっていきます

レベルⅠ：

基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を受けながら、安全に看護を実施できる

レベルⅡ：

根拠のある判断、看護実践ができる

レベルⅢ：

対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる

レベルⅣ：

全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもって、患者中心の看護を実践できる

レベルⅤ：

より複雑な対応困難な状況に応じて、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる

大富士病院 クリニカルラダーについて 2

面接は所属の主任又は師長と行います

毎年自己のレベルを確認し面接にのぞむ

4月～5月
目標面接

目標面接時に自己のレベルに合わせて面接者と共に確認し自己の目標設定を行う

9月～10月
中間面接

目標に沿って実践し自己の中間評価を行い中間面接にのぞむ

2月～3月
評価面接

評価面接時自己の最終評価を行い面接にのぞむ

2024年 看護部 看護師レベル別教育計画

レベル	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I	精神科看護に必要な法律の理解	倫理的視点も考慮した身体拘束最小化の必要性	当事者の思いに寄り添う服薬支援	精神科看護で活かせるコミュニケーション技法	理解が進む統合失調症のケア	認知症看護	記録勉強会	再入院させない地域連携		実践報告会
II	インシデントから学ぶ医療安全	倫理的視点も考慮した身体拘束最小化の必要性	当事者の思いに寄り添う服薬支援	精神科看護で活かせるコミュニケーション技法	感染拡大を最小限にとどめる対策	プリセプター入門	記録勉強会	再入院させない地域連携	事例検討会	実践報告会
III	インシデントから学ぶ医療安全	リカバリーに向けたストレスの活用	虐待につなげない精神科看護のケア	実習指導	感染拡大を最小限にとどめる対策	プリセプター入門	記録勉強会	倫理カンファレンスの考え方	事例検討会	実践報告会
IV		リカバリーに向けたストレスの活用	虐待につなげない精神科看護のケア	実習指導		プリセプター入門	記録勉強会	倫理カンファレンスの考え方		看護管理
V			虐待につなげない精神科看護のケア	実習指導			記録勉強会			看護管理

- ・レベル別教育研修計画の内容に基づいてeラーニング視聴後に各レベルを対象とした集合研修を行い学びを深め合っています。
- ・臨時勉強会を計画し、知識 技術の向上に努めています

看護部の研修風景

12月に記録の勉強会を予定しています

包括的暴力防止プログラムも継続して学習計画しています

各病棟で患者さんにとって安全で負担が最小限になるよう、拘束帯の勉強会をしています

院内教育委員会の研修も毎月1回程度計画され、eラーニングなどを利用して全職員が受講しています

院内の研究発表会があり、病院全体で学習する環境が整っています



2024年 看護補助者（看護助手）教育計画

《教育の目的》看護師、准看護師の指示のもとに、患者の療養上の世話の一部と、業務の補助を行なうために必要な知識と能力を養う

***今年度から看護補助者のラダー(Ⅰ～Ⅲレベル)を導入しました**

6月	7月	9月	10月	11月	12月
病院の機能 補助業務の理解 守秘義務 個人情報	医療安全 倫理	食事介助 誤嚥時の対応 口腔ケア	清潔ケア おむつ交換	感染対策 ガウンテクニック	安全な移乗 移送 体位変換 認知症患者の対応

eラーニングを活用して事前に学習をしています

月2回に分けて研修を行っています

精神科における看護補助者の基本的な業務を学習できます

グループワークや実技など実践を取り入れた研修です

精神科の医療チームの一員として患者さんの生活を支え活躍しています

